



各種材料の制振性能を評価します
制振材料等の損失係数測定

技術分野分類 5506：機械力学・制御

技術キーワード (4)：振動解析・試験

産業分類 E-18：プラスチック製品製造業 E-19：ゴム製品製造業

内 容	概要	JIS K7391 振動減衰特性試験方法に規定されている片持ちはり法および中央加振法により、各種材料の制振特性（損失係数）が測定できる。恒温槽が付属しているため、試験温度を変えて測定することが可能である。
	従来技術・競合技術との比較（優位性）	単層材料以外は測定が難しい動的粘弾性測定装置に対し、本装置は、複合はり（鋼板などの基材と制振材料を重ね合わせたもの）等の試験が実施できる。また、恒温槽内に試験片を最大3本設置できるため、同一条件下での温度負荷試験が効率的に実施できる。
	本技術の有用性	複合はりの制振特性だけでなく、その試験結果から制振材料の制振特性を算出することができるため、制振性能をもつ新材料開発に活用できる。
関連情報 (図・表・写真等)		
適用可能製品		自動車などの輸送用機械をはじめ、OA 機器や建築資材等に使用されている制振材料、炭素繊維強化プラスチック等に適用可能
技術 シース 所有者	氏名 所属・役職	山田博行 名古屋市工業研究所 システム技術部 計測技術研究室 研究員
技術 シース 照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	名古屋市工業研究所 支援総括室 052-661-3161/052-654-6788 kikaku@nmiri.city.nagoya.jp

■知的財産 なし

■試作品状況 無 提示可 提供可

作成日 2017年 11月 1日